

10.11.2004

日 本 国 特 許 庁  
JAPAN PATENT OFFICE

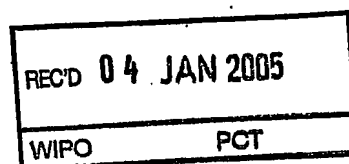
別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日  
Date of Application: 2 0 0 3 年 1 1 月 1 3 日

出 願 番 号  
Application Number: 特 願 2 0 0 3 - 3 8 3 5 3 2  
[ST. 10/C]: [ J P 2 0 0 3 - 3 8 3 5 3 2 ]

出 願 人  
Applicant(s): 松下電器産業株式会社

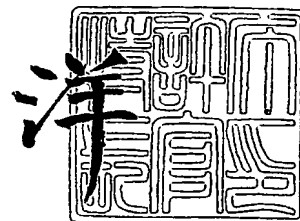


PRIORITY DOCUMENT  
SUBMITTED OR TRANSMITTED IN  
COMPLIANCE WITH  
RULE 17.1(a) OR (b)

2 0 0 4 年 1 2 月 1 6 日

特許庁長官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

小 川



【書類名】 特許願  
【整理番号】 2130050338  
【提出日】 平成15年11月13日  
【あて先】 特許庁長官殿  
【国際特許分類】 G06F 13/00  
【発明者】  
    【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地 松下電器産業株式会社内  
    【氏名】 広瀬 耕司  
【発明者】  
    【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地 松下電器産業株式会社内  
    【氏名】 宮原 一浩  
【発明者】  
    【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地 松下電器産業株式会社内  
    【氏名】 武知 秀明  
【発明者】  
    【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地 松下電器産業株式会社内  
    【氏名】 越野 俊治  
【特許出願人】  
    【識別番号】 000005821  
    【氏名又は名称】 松下電器産業株式会社  
【代理人】  
    【識別番号】 100097445  
    【弁理士】  
    【氏名又は名称】 岩橋 文雄  
【選任した代理人】  
    【識別番号】 100103355  
    【弁理士】  
    【氏名又は名称】 坂口 智康  
【選任した代理人】  
    【識別番号】 100109667  
    【弁理士】  
    【氏名又は名称】 内藤 浩樹  
【手数料の表示】  
    【予納台帳番号】 011305  
    【納付金額】 21,000円  
【提出物件の目録】  
    【物件名】 特許請求の範囲 1  
    【物件名】 明細書 1  
    【物件名】 図面 1  
    【物件名】 要約書 1  
    【包括委任状番号】 9809938

**【書類名】 特許請求の範囲****【請求項 1】**

家庭内にある A V 機器等の被制御機器と、前記被制御機器とインターネットを通じて通信することのできるサーバ装置からなる遠隔制御システムにおいて、インターネット通信を行なう通信制御部と前記サーバ装置にデータが届いている事を示す通知指令を受け取る通知受信部と、被制御機器それぞれに固有のデータを管理する機器固有データ管理部と、前記通知受信部で受信した通知指令に基づいてデータ取得要求を前記サーバ装置に送る取得要求送信部と、前記サーバ装置からデータを受信するデータ受信部と、前記データ受信部で受け取ったデータの保存先を制御するデータ格納制御部と、前記データ格納制御部から送られてきたデータを格納するデータ格納部からなる被制御機器と、インターネット通信を行なう通信制御部と、静止画像や動画等のデータを保管するデータ保管部と、格納されているデータの管理を行なうデータ管理部と、前記被制御機器を特定するための機器固有データを格納する機器管理部と、前記データ保管部にデータが存在することを前記被制御機器に通知する通知部と、前記被制御機器からの取得要求指令を受け取り前記データ保管部に格納してあるデータを前記被制御機器に送るデータ送信部からなるサーバ装置となり、前記サーバ装置のデータ保管にデータが格納されると前記被制御機器にデータの到着を示す通知指令を送り、一方被制御機器は通知指令を受け取った後前記サーバ装置に対して取得要求を送ることにより前記サーバ装置に格納されているデータを受信しデータ格納部へ格納する事を特徴とする遠隔制御システム。

**【請求項 2】**

請求項 1 のサーバ装置の機器管理部に機器固有データを格納する手段として、前記被制御機器に機器固有データを送る固有データ送信部を備え、前記サーバ装置に機器固有データを受信し前記機器管理部に通知する固有データ受信部を備えたことを特徴とする遠隔制御装置。

**【請求項 3】**

請求項 1 の被制御機器に被制御機器自身を制御する機器制御部と、前記機器制御部の状態を判定する機器状態判定部を備え、前記通知受信部が通知指令を受けとった後機器状態判定部にて機器の状態を判定しデータ取得を行なえる状態になったことを検知した後取得要求を送信する取得要求送信部を備えたことを特徴とする遠隔制御装置。

**【請求項 4】**

請求項 1 のデータ保管部が、文字情報等テキストデータを保存するテキストデータ保存部であることを特徴とする遠隔制御装置。

**【請求項 5】**

請求項 1 の被制御機器が、前記データ受信部からのデータを受け取り表示するデータ表示部を備えていることを特徴とする遠隔制御装置。

**【請求項 6】**

請求項 1 のデータ保管部に画像データとテキストデータを一对として保存されており、被制御機器は、データ受信部にて一对となった画像データとテキスト情報をすべて受け取った後、同じく一对のデータとしてデータ格納部に保存することを特徴とする遠隔制御装置。

**【請求項 7】**

請求項 1 の被制御機器が、前記データ受信部からのデータを受け取り表示するデータ表示部を備え、請求項 1 のデータ保管部に画像データとテキストデータを一对として保存されており、被制御機器は、データ受信部にて一对となった画像データとテキスト情報をすべて受け取った後、同じく一对のデータとしてデータ表示部にて表示されることを特徴とする遠隔制御装置。

**【請求項 8】**

請求項 1 のデータ保管部へ格納する手段として、画像を添付した電子メールの受信部と、受信した前記電子メールを解析する解析部からなることを特徴とする遠隔制御装置。

**【請求項 9】**

請求項1のデータ保管部へ格納する手段として、もう一方のサーバ装置との通信手段であるサーバ間通信部を備えたことを特徴とする遠隔制御装置。

【請求項10】

請求項1の通知受信部が、画像データがあることを示す通知を受けとった事をする表示を行なう通知表示部を備えたことを特徴とする遠隔制御装置。

【請求項11】

請求項1の通知受信部が、画像データがあることを示す通知を受けとった事をする表示を行なう通知表示部と、画像を受信することのきっかけとなる操作を行なう操作部と、前記通知表示部に表示されている間に前記操作部の操作に基づいて画像取得要求を送信する取得要求送信部とを備えたことを特徴とする遠隔制御装置。

【請求項12】

請求項1のデータ格納制御部が、受け取った画像データの種別に応じて違うホルダーまたは違うメディアに分けて格納するデータ格納制御部であることを特徴とする遠隔制御装置。

【請求項13】

請求項6のデータ格納部に格納されている一対のデータを、移動、消去の操作を行なう場合、一対となっている画像及びテキスト情報同時に移動または削除されるファイル管理部を備えたことを特徴とする遠隔制御装置。

【書類名】明細書

【発明の名称】遠隔制御装置

【技術分野】

【0001】

本発明は、インターネット経由で、家庭内の機器を制御する遠隔制御機器に関する。

【背景技術】

【0002】

従来、家庭内にある機器（以後、被制御機器という）は、映像、音声、テキストデータのみならず種々のデータを記録することが可能になり、ハードディスク等大容量記憶装置を備えた製品も開発されている。このため、従来の録画再生機能に加え、別の機器で録画された画像データ等の種々のデータを記録するといった新しい用途が考えられている。

【0003】

それでは、図5、図6、図7及び図8を用いて従来例について説明する。図5は、従来の実施例のブロック図を示し、図6は、従来例のデータ管理部の管理テーブル例を示し、図7は、従来例のユーザ管理部の管理テーブル例を示し、図8は、従来例の遠隔制御装置のアルゴリズム例である。

【0004】

図5において、100は、パソコンやチューナー装置やテレビジョン受信機、DVDレコーダーなど、家庭内の被制御機器である。150は、インターネットと接続され被制御機器100とデータの送受信を行なうサーバ装置である。101は、インターネットで通信を行なうための通信制御部である。107は、ユーザが操作を行なうための操作部である。106は、各ユーザ特有のユーザID及びユーザパスワード（以後ユーザPWと称す）を格納するユーザ情報保存部である。102は、操作部107からの操作指令に基づいてコマンドをサーバ装置150に送るコマンド処理部である。103は、サーバ装置150から送られてきたデータを受け取るデータ受信部である。104は、データ受信部103で受け取ったデータを録画メディアに記録するための制御を行なうデータ格納制御部である。105は、データを格納するデータ格納部であり、ハードディスクやDVD等の録画メディアである。151は、インターネットで通信を行なうための通信制御部である。155は、ユーザ情報を管理しており、被制御機器からのコマンドが正しいかどうか判定し処理をするユーザ管理部である。152は、静止画像や動画像といったデータを保管するデータ保管部である。153は、データ保管部152に格納されているデータの管理を行なうデータ管理部であり、通常ファイルシステム等の名称で呼ばれている。154は、データ保管部152に保管されているデータを被制御機器100へ送るためのデータ送信部である。

【0005】

図6は、従来例のデータ管理部の管理テーブル例を示す。このテーブルには、少なくともユーザを特定するためのユーザIDと、そのユーザID宛てに送られてきた、または保管してあるデータの名称と保管場所を示すデータが格納されており、データ取得要求があれば、ユーザIDに応じたデータをデータ保管部152から取り出せるようになっている。

【0006】

図7は、実施例の機器管理部の管理テーブル例を示す。被制御機器100からのコマンドが正しいユーザからの指令かどうかを判断するためのテーブルデータであり、少なくともユーザIDとユーザPWをデータとして保持している。被制御機器100からログイン処理やデータ取得コマンドがあれば、このテーブルを使用してユーザIDとユーザPWを比較することにより正しいユーザかどうかを判定している。

【0007】

それでは、処理の流れを図8の従来例のアルゴリズム例に従って説明する。インターネット経由でデータを送受信する代表例としては、電子メールがある。通常、被制御機器としてのパソコンに電子メールを送受信するアプリケーションソフトが実装されている。ユ

ーザは、このアプリケーションソフトを起動する。次に、操作部107を操作することにより、コマンド処理部102は、ユーザ情報保存部106からユーザID及びユーザPWを読み取った後、サーバ装置150にログイン処理を行なう。ログイン処理とは、正しいユーザからの通信かどうかを判定するために、サーバ装置150のユーザ管理部155にてユーザIDとユーザPWの確認を行なう処理である。ログイン処理が終われば、操作部107の操作に基づきデータ取得要求を送る。このデータ取得要求は、ユーザ管理部155を経由してデータ管理部153へ送られる。データ管理部153では、データ保管部152に保管してあるデータの内、データ取得要求を送ったユーザIDに該当するデータの有無を確認する。該当するデータがなければ保存データが無い事を示すステータスを被制御機器に返信する。ユーザIDに該当するデータがあれば、データ送信部154に送る。データ送信部154は、受け取ったデータを被制御機器100のデータ受信部103へ送る。データ受信部103は、受け取ったデータをデータ格納制御部104へ送り格納するメディアの状態に応じて必要なファイル管理情報などを付加し、データ格納部105へ格納する。データ格納が終わると、データ格納が終わった事を示すステータスがサーバ装置150に送り返されることにより、データ保管部152にデータが保管されているかどうか確認をする。といった手順で、データ保管部152に保管データがなくなるまでこの処理が繰り返される。

【特許文献1】特開2000-242581号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0008】

従来例では、データが届いているかどうか自動的に分からないため、データを取得する場合パソコン等の被制御機器から煩雑な操作を必要とし、また、ユーザが不在の場合に取得できないといった問題を有していた。また、ユーザからの操作による取得要求、または、アプリケーションソフトからの取得要求があるまでは、サーバ装置にデータが保管されつづけるため、各ユーザ毎にかなりの容量の記憶装置を準備する必要があり、サーバ装置の運用工数や運用費用が増える等の問題を有していた。

【0009】

本発明は、上記課題を解決すべくサーバ装置に保管されたデータがあれば速やかに被制御機器に通知するとともに、被制御機器に保管データを自動的に送ることにより、ユーザの煩雑な操作を不要とし、またサーバ装置の記憶装置の容量を押さえる事によりサーバ装置の運用工数や運用費用の低減を目的とする。

【課題を解決するための手段】

【0010】

この課題を解決するために本発明は、家庭内にあるAV機器等の被制御機器と、前記被制御機器とインターネットを通じて通信することのできるサーバ装置からなる遠隔制御システムにおいて、インターネット通信を行なう通信制御部と前記サーバ装置にデータが届いている事を示す通知指令を受け取る通知受信部と、被制御機器それぞれに固有のデータを管理する機器固有データ管理部と、前記通知受信部で受信した通知指令に基づいてデータ取得要求を前記サーバ装置に送る取得要求送信部と、前記サーバ装置からデータを受信するデータ受信部と、前記データ受信部で受け取ったデータの保存先を制御するデータ格納制御部と、前記データ格納制御部から送られてきたデータを格納するデータ格納部からなる被制御機器と、インターネット通信を行なう通信制御部と、静止画像や動画画像等のデータを保管するデータ保管部と、格納されているデータの管理を行なうデータ管理部と、前記被制御機器を特定するための機器固有データを格納する機器管理部と、前記データ保管部にデータが存在することを前記被制御機器に通知する通知部と、前記被制御機器からの取得要求指令を受け取り前記データ保管部に格納してあるデータを前記被制御機器に送るデータ送信部からなるサーバ装置からなり、前記サーバ装置のデータ保管にデータが格納されると前記被制御機器にデータの到着を示す通知指令を送り、一方被制御機器は通知指令を受け取った後前記サーバ装置に対して取得要求を送ることにより前記サーバ装置に

格納されているデータを受信しデータ格納部へ格納する事を特徴とする遠隔制御装置で構成した物である。

【0011】

これにより、サーバ装置に保管されたデータがあれば速やかに被制御機器に通知するとともに、被制御機器に保管データを自動的に送ることにより、ユーザーの煩雑な操作を不要とし、またサーバ装置の記憶装置の容量を押さえる事によりサーバ装置の運用工数や運用費用を低減することが可能となる。

【発明の効果】

【0012】

本発明によれば、家庭内にあるAV機器等の被制御機器と、前記被制御機器とインターネットを通じて通信することのできるサーバ装置からなる遠隔制御システムにおいて、インターネット通信を行なう通信制御部と前記サーバ装置にデータが届いている事を示す通知指令を受け取る通知受信部と、被制御機器それぞれに固有のデータを管理する機器固有データ管理部と、前記通知受信部で受信した通知指令に基づいてデータ取得要求を前記サーバ装置に送る取得要求送信部と、前記サーバ装置からデータを受信するデータ受信部と、前記データ受信部で受け取ったデータの保存先を制御するデータ格納制御部と、前記データ格納制御部から送られてきたデータを格納するデータ格納部からなる被制御機器と、インターネット通信を行なう通信制御部と、静止画像や動画像等のデータを保管するデータ保管部と、格納されているデータの管理を行なうデータ管理部と、前記被制御機器を特定するための機器固有データを格納する機器管理部と、前記データ保管部にデータが存在することを前記被制御機器に通知する通知部と、前記被制御機器からの取得要求指令を受け取り前記データ保管部に格納してあるデータを前記被制御機器に送るデータ送信部からなるサーバ装置からなり、前記サーバ装置のデータ保管にデータが格納されると前記被制御機器にデータの到着を示す通知指令を送り、一方被制御機器は通知指令を受け取った後前記サーバ装置に対して取得要求を送ることにより前記サーバ装置に格納されているデータを受信しデータ格納部へ格納する事を特徴とする遠隔制御装置で構成した物である。

【0013】

これにより、サーバ装置に保管されたデータがあれば速やかに被制御機器に通知するとともに、被制御機器に保管データを自動的に送ることにより、ユーザーの煩雑な操作を不要とし、またサーバ装置の記憶装置の容量を押さえる事によりサーバ装置の運用工数や運用費用を低減することが可能となる。

【0014】

さらなる効果として、従来例の構成では、ユーザーの操作を省くべく一定時間ごとにパソコン等被制御機器からサーバ装置のデータを確認する方法があるが、この場合、常に被制御機器からのアクセスがあるためインターネットのトラフィックが増えるという課題を有している。本発明の実施例では画像データが保管されているときに限りサーバ装置から到着を知らせるアクセスがあるため、不要なインターネットのトラフィックを低減できるという効果を有している。

【発明を実施するための最良の形態】

【0015】

本発明の実施の形態1に記載の発明は、家庭内にあるAV機器等の被制御機器と、前記被制御機器とインターネットを通じて通信することのできるサーバ装置からなる遠隔制御システムにおいて、インターネット通信を行なう通信制御部と前記サーバ装置にデータが届いている事を示す通知指令を受け取る通知受信部と、被制御機器それぞれに固有のデータを管理する機器固有データ管理部と、前記通知受信部で受信した通知指令に基づいてデータ取得要求を前記サーバ装置に送る取得要求送信部と、前記サーバ装置からデータを受信するデータ受信部と、前記データ受信部で受け取ったデータの保存先を制御するデータ格納制御部と、前記データ格納制御部から送られてきたデータを格納するデータ格納部からなる被制御機器と、インターネット通信を行なう通信制御部と、静止画像や動画像等のデータを保管するデータ保管部と、格納されているデータの管理を行なうデータ管理部と

、前記被制御機器を特定するための機器固有データを格納する機器管理部と、前記データ保管部にデータが存在することを前記被制御機器に通知する通知部と、前記被制御機器からの取得要求指令を受け取り前記データ保管部に格納してあるデータを前記被制御機器に送るデータ送信部からなるサーバ装置からなり、前記サーバ装置のデータ保管にデータが格納されると前記被制御機器にデータの到着を示す通知指令を送り、一方被制御機器は通知指令を受け取った後前記サーバ装置に対して取得要求を送ることにより前記サーバ装置に格納されているデータを受信しデータ格納部へ格納する事を特徴とする遠隔制御装置で構成した物である。

#### 【0016】

これにより、サーバ装置に保管されたデータがあれば速やかに被制御機器に通知するとともに、被制御機器に保管データを自動的に送ることにより、ユーザーの煩雑な操作を不要とし、またサーバ装置の記憶装置の容量を押さえる事によりサーバ装置の運用工数や運用費用を低減することが可能となる。

#### 【0017】

(実施の形態1)

図1は、本発明の実施の形態1のブロック図を示し、図2は、データ管理部の管理テーブル例を示し、図3は、機器管理部の管理テーブル例を示し、図4は、遠隔制御装置のアルゴリズム例である。

#### 【0018】

図1において、300は、パソコンやチューナー装置やテレビジョン受信機、DVDレコーダーなど、家庭内の被制御機器である。350は、インターネットと接続され被制御機器300とデータの送受信を行なうサーバ装置である。301は、インターネットで通信を行なうための通信制御部である。302は、サーバ装置350にデータが届いている事を示す通知指令を受け取る通知受信部である。307は、被制御機器それぞれに固有の機器ID及び機器パスワード(以後機器PWと称す)を管理する機器固有データ管理部である。303は、通知受信部302で受信した通知指令に基づいてデータ取得要求をサーバ装置350に送る取得要求送信部である。この取得要求送信時には、被制御機器300が特定できるように機器ID及び機器PW等のデータを機器固有データ管理部307から読み取り、同時に送信する。304は、サーバ装置350から送られてきたデータを受け取るデータ受信部である。305は、データ受信部304で受け取ったデータを録画メディアに記録するための制御を行なうデータ格納制御部である。306は、データを格納するデータ格納部であり、ハードディスクやDVD等の録画メディアである。351は、インターネットで通信を行なうための通信制御部である。354は、被制御機器固有のデータを管理しており、被制御機器の特定や、被制御機器からのコマンドが正しい機器からのものかどうか判定する機器管理部である。352は、静止画像や動画像といったデータを保管するデータ保管部である。353は、データ保管部352に格納されているデータの管理を行なうデータ管理部であり、通常ファイルシステム等の名称と呼ばれている。355は、データ保管部352に保管されているデータの有無を被制御機器へ通知する通知部である。356は、データ保管部352に保管されているデータを被制御機器300へ送るためのデータ送信部である。

#### 【0019】

図2は、実施例のデータ管理部の管理テーブル例を示す。このテーブルには、少なくとも被制御機器を特定するための機器ID、その機器ID宛てに送られてきた、または保管してあるデータの名称と保管場所を示すデータが格納されており、データ取得要求があれば、機器IDに応じたデータをデータ保管部352から取り出せるようになっている。

#### 【0020】

図3は、実施例の機器管理部の管理テーブル例を示す。被制御機器300の特定や、被制御機器300からのコマンドが正しい機器からの指令かどうかを判断するためのテーブルデータであり、少なくとも機器IDと機器PWをデータとして保持している。被制御機器300への通知送信時や、被制御機器300からデータ取得コマンドがあれば、このテ



ープルを使用して機器IDと機器PWを比較することにより正しい被制御機器300かどうかを判定している。

#### 【0021】

それでは、処理の流れを図4の実施例のアルゴリズム例に従って説明する。サーバ装置350のデータ保管部352には、何らかの方法で画像データやテキストデータなど被制御機器300に送りたいデータが保管されている。この方法には、電子メールで送る方法もあれば、DVD等のディスクメディアや別のサーバ装置からの通信により保管する等の方法がある。データ管理部353では、まずデータ保管部352に保存データがあるかどうかの確認を行なう。保存データがあれば、データ通知部355にデータがあることを通知する。通知部355は、データ管理部353の管理テーブル及び機器管理部354の管理テーブルから機器ID、機器PW、保管場所等の必要な情報を受け取り、被制御機器300を特定した後、保存データがあることを被制御機器300へ通知する。通知受信部302では、通知を受け取ったら取得要求送信部303へ保存データがあることを伝える。取得要求送信部303は、機器固有データ管理部307から機器ID及び機器PWを読み取り取得要求とともにサーバ装置350へ送る。このデータ取得要求は、通知部355を経由してデータ管理部353へ送られる。データ管理部353では、データ保管部352に保管してあるデータの内、データ取得要求を送った機器IDに該当するデータをデータ送信部356に送る。データ送信部356は、受け取ったデータを被制御機器300のデータ受信部304へ送る。データ受信部304は、受け取ったデータをデータ格納制御部305へ送り格納するメディアの状態に応じて必要なファイル管理情報などを付加し、データ格納部306へ格納する。データ格納が終わると、データ格納が終わった事を示すステータスがサーバ装置350に送り返されることにより、データ保管部352にデータが残っていないかどうか確認をする。といった手順で、データ保管部352に保管データがなくなるまでこの処理が繰り返される。

#### 【0022】

##### (実施の形態2)

図9は、本発明の実施の形態2のブロック図を示し、サーバ装置350の機器管理部354に機器固有データを格納する手段として、被制御機器300に機器固有データを送る固有データ送信部308を備え、サーバ装置350に機器固有データを受信し機器管理部354に通知する固有データ受信部357を備えており、被制御機器300からサーバ装置350に対して機器固有データを自動的に登録することにより機器管理部354のメンテナンスが不要となりより使い易くなる。

#### 【0023】

##### (実施の形態3)

図10は、本発明の実施の形態3のブロック図を示し、被制御機器300に被制御機器自身を制御する機器制御部309と、機器制御部309の状態を判定する機器状態判定部310を備え、通知受信部302が通知指令を受けとった後、機器状態判定部310にて機器の状態を判定しデータ取得を行なえる状態になったことを検知した後取得要求を送信する取得要求送信部303を備えている。被制御機器300は、通知指令を受け取った時点では必ずしもサーバ装置350からのデータを受信できる状態でない場合がある。例えば予約録画を実行している場合や、ダビング操作や編集動作など被制御機器300が、データを受信できる状態ではない。この場合には、被制御機器の動作状態に応じて取得要求を送信する時期をずらす事で、被制御機器300がデータ受信可能なタイミングになった時点で直ちにサーバ装置350からデータを受信することで、より使い易いシステムとなる。

#### 【0024】

##### (実施の形態4)

図1に示すデータ保管部352が、画像データだけでなく、文字情報等のテキストデータやメタデータであることを特徴としており、サーバ装置350からいろいろなデータが被制御機器300に格納できることを示している。

## 【0025】

## (実施の形態5)

図11は、本発明の実施の形態5のブロック図を示し、被制御機器300が、データ受信部304からのデータを受け取り表示するデータ表示部311を備えており、サーバ装置から受け取った画像データ等をすぐに表示することでより使い易くなる。

## 【0026】

## (実施の形態6)

図1に示すデータ保管部352に画像データとテキストデータを一对として保存されており、被制御機器300は、データ受信部304にて一对となった画像データとテキスト情報をすべて受け取った後、同じく一对のデータとしてデータ格納部306に保存することで、例えばニュース記事等のように画像データとその説明文が対になったデータを扱う事で、より使い易いシステムとなる。

## 【0027】

## (実施の形態7)

図11に示すように実施の形態1の被制御機器300が、データ受信部304からのデータを受け取り表示するデータ表示部311を備え、実施の形態1のデータ保管部352に画像データとテキストデータを一对として保存されており、被制御機器300は、データ受信部304にて一对となった画像データとテキストデータをすべて受け取った後、同じく一对のデータとしてデータ表示部311にて表示することを示す。

## 【0028】

## (実施の形態8)

図12は、本発明の実施の形態8のブロック図を示し、実施の形態1のデータ保管部352へ格納する手段として、画像を添付した電子メールの受信部358と、受信した電子メールを解析する解析部359からなり、いろいろな機器から電子メールの形式で送られてきた画像データやテキストデータを被制御機器300へ送信可能な形式で分類および保管することで、被制御機器300へ送るデータの入手範囲を広げることができ、より使い易いシステムとなる。

## 【0029】

## (実施の形態9)

図13は、本発明の実施の形態9のブロック図を示し、実施の形態1のデータ保管部352へ格納する手段として、もう一方のサーバ装置（図示せず）との通信手段であるサーバ間通信部360を備えることにより、被制御機器300へ送るデータの入手範囲を広げることができ、より使い易いシステムとなる。

## 【0030】

## (実施の形態10)

図14は、本発明の実施の形態10のブロック図を示し、実施の形態1の通知受信部302が、画像データがあることを示す通知を受けとった事示す表示を行なう通知表示部312を備えており、ユーザは画像データが到着したことを直ちに知ることができ、より使い易いシステムとなる。

## 【0031】

## (実施の形態11)

図15は、本発明の実施の形態11のブロック図を示し、実施の形態1の通知受信部302が、画像データがあることを示す通知を受けとった事示す表示を行なう通知表示部312と、画像を受信することのきっかけとなる操作を行なう操作部313と、通知表示部312に表示されている間に操作部313の操作に基づいて画像取得要求を送信する取得要求送信部303とを備えており、ユーザがサーバ装置350の画像データが届いていることを知った後、任意のタイミングで画像取得要求を送信することで、より使い易いシステムとなる。

## 【0032】

## (実施の形態12)

実施の形態 1 のデータ格納制御部 3 0 5 が、受け取った画像データの種別に応じて違うホルダーまたは違うメディアに分けて格納する機能を持っている。このため、図 2 の管理テーブル例にあるように、種別のデータに応じて格納するホルダーもしくはメディアを変えることにより、自動的に分類でき、ユーザの検索操作がより簡単になり、より使い易いシステムとなる。

**【0 0 3 3】****(実施の形態 1 3)**

実施の形態 6 のデータ格納部 3 0 6 に格納されている一对のデータを、移動、消去の操作を行なう場合、一对となっている画像及びテキスト情報同時に移動または削除されるファイル管理部 3 1 4 を備えており、一对となっているデータ的一方だけが残ったり、削除されたりすることを防ぐとともに、ユーザが一对のデータであることを管理する必要がなく、より使い易いシステムとなる。

**【産業上の利用可能性】****【0 0 3 4】**

サーバ装置 3 5 0 は 1 台のサーバとして説明してきたが、運用上の理由等により複数のサーバで構成されることも可能である。

**【図面の簡単な説明】****【0 0 3 5】**

- 【図 1】** 本発明の請求項 1 の実施例のブロック図
- 【図 2】** 実施例のデータ管理部の管理テーブル例を示す図
- 【図 3】** 実施例の機器管理部管理テーブル例を示す図
- 【図 4】** 実施例の遠隔制御装置のアルゴリズム例を示す図
- 【図 5】** 従来例の実施例のブロック図
- 【図 6】** 従来例のデータ管理部の管理テーブル例を示す図
- 【図 7】** 従来例のユーザ管理部の管理テーブル例を示す図
- 【図 8】** 従来例の遠隔制御装置のアルゴリズム例を示す図
- 【図 9】** 本発明の請求項 2 の実施例のブロック図
- 【図 1 0】** 本発明の請求項 3 の実施例のブロック図
- 【図 1 1】** 本発明の請求項 4 の実施例のブロック図
- 【図 1 2】** 本発明の請求項 5 の実施例のブロック図
- 【図 1 3】** 本発明の請求項 6 の実施例のブロック図
- 【図 1 4】** 本発明の請求項 7 の実施例のブロック図
- 【図 1 5】** 本発明の請求項 8 の実施例のブロック図
- 【図 1 6】** 本発明の請求項 9 の実施例のブロック図

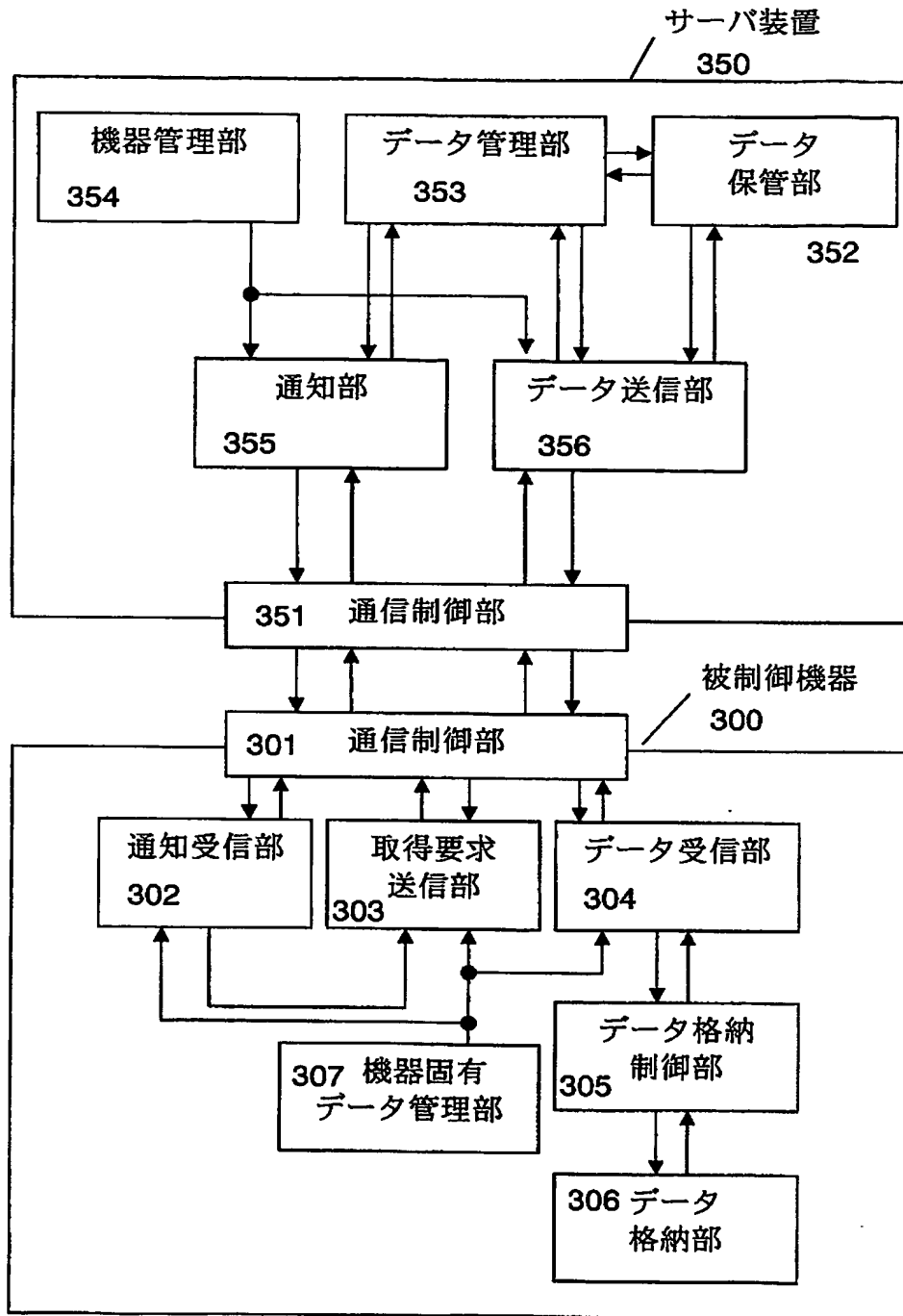
**【符号の説明】****【0 0 3 6】**

- 1 0 0 被制御機器
- 1 0 1 通信制御部
- 1 0 2 コマンド処理部
- 1 0 3 データ受信部
- 1 0 4 データ格納制御部
- 1 0 5 データ格納部
- 1 0 6 ユーザ情報保存部
- 1 0 7 操作部
- 1 5 0 サーバ装置
- 1 5 1 通信制御部
- 1 5 2 データ保管部
- 1 5 3 データ管理部
- 1 5 4 データ送信部
- 1 5 5 ユーザ管理部

|       |            |
|-------|------------|
| 3 0 0 | 被制御機器      |
| 3 0 1 | 通信制御部      |
| 3 0 2 | 通知受信部      |
| 3 0 3 | 取得要求送信部    |
| 3 0 4 | データ受信部     |
| 3 0 5 | データ格納制御部   |
| 3 0 6 | データ格納部     |
| 3 0 7 | 機器固有データ管理部 |
| 3 0 8 | 固有データ送信部   |
| 3 0 9 | 機器制御部      |
| 3 1 0 | 機器状態判定部    |
| 3 1 1 | データ表示部     |
| 3 1 2 | 通知表示部      |
| 3 1 3 | 操作部        |
| 3 5 0 | サーバ装置      |
| 3 5 1 | 通信制御部      |
| 3 5 2 | データ保管部     |
| 3 5 3 | データ管理部     |
| 3 5 4 | 機器管理部      |
| 3 5 5 | 通知部        |
| 3 5 6 | データ送信部     |
| 3 5 7 | 固有データ受信部   |
| 3 5 8 | 受信部        |
| 3 5 9 | 解析部        |
| 3 6 0 | サーバ間通信部    |

【書類名】 図面

【図 1】



本発明の請求項 1 の実施例のブロック図

【図 2】

| 機器 I D | 保管場所     | 画像データ名      | 種別 | ..... |
|--------|----------|-------------|----|-------|
| D1234  | holder_a | pic0001.jpg | 01 | ..... |
| D2345  | holder_b | pic0002.jpg | 01 | ..... |
| D5678  | holder_c | pic0003.jpg | 02 | ..... |
| ・      | ・        | ・           | ・  | ・     |
| ・      | ・        | ・           | ・  | ・     |
| ・      | ・        | ・           | ・  | ・     |
| ・      | ・        | ・           | ・  | ・     |
| ・      | ・        | ・           | ・  | ・     |
| ・      | ・        | ・           | ・  | ・     |
| ・      | ・        | ・           | ・  | ・     |

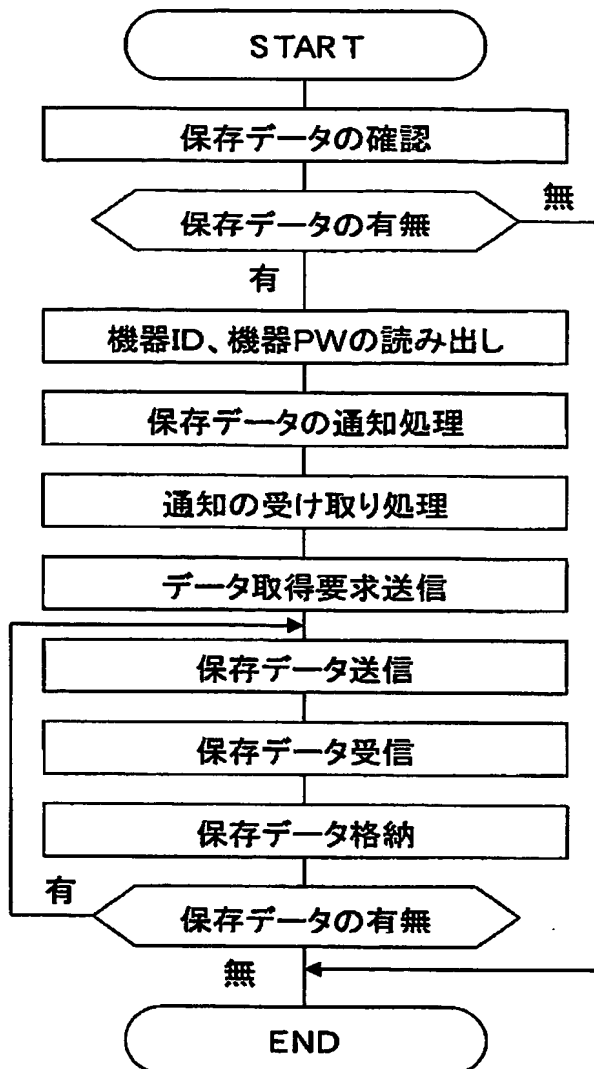
実施例のデータ管理部の管理テーブル例

【図 3】

| 機器 I D | 機器 PW |
|--------|-------|
| D1234  | 34567 |
| D2345  | 45678 |
| D5678  | 56789 |
| ・      | ・     |
| ・      | ・     |
| ・      | ・     |
| ・      | ・     |
| ・      | ・     |
| ・      | ・     |

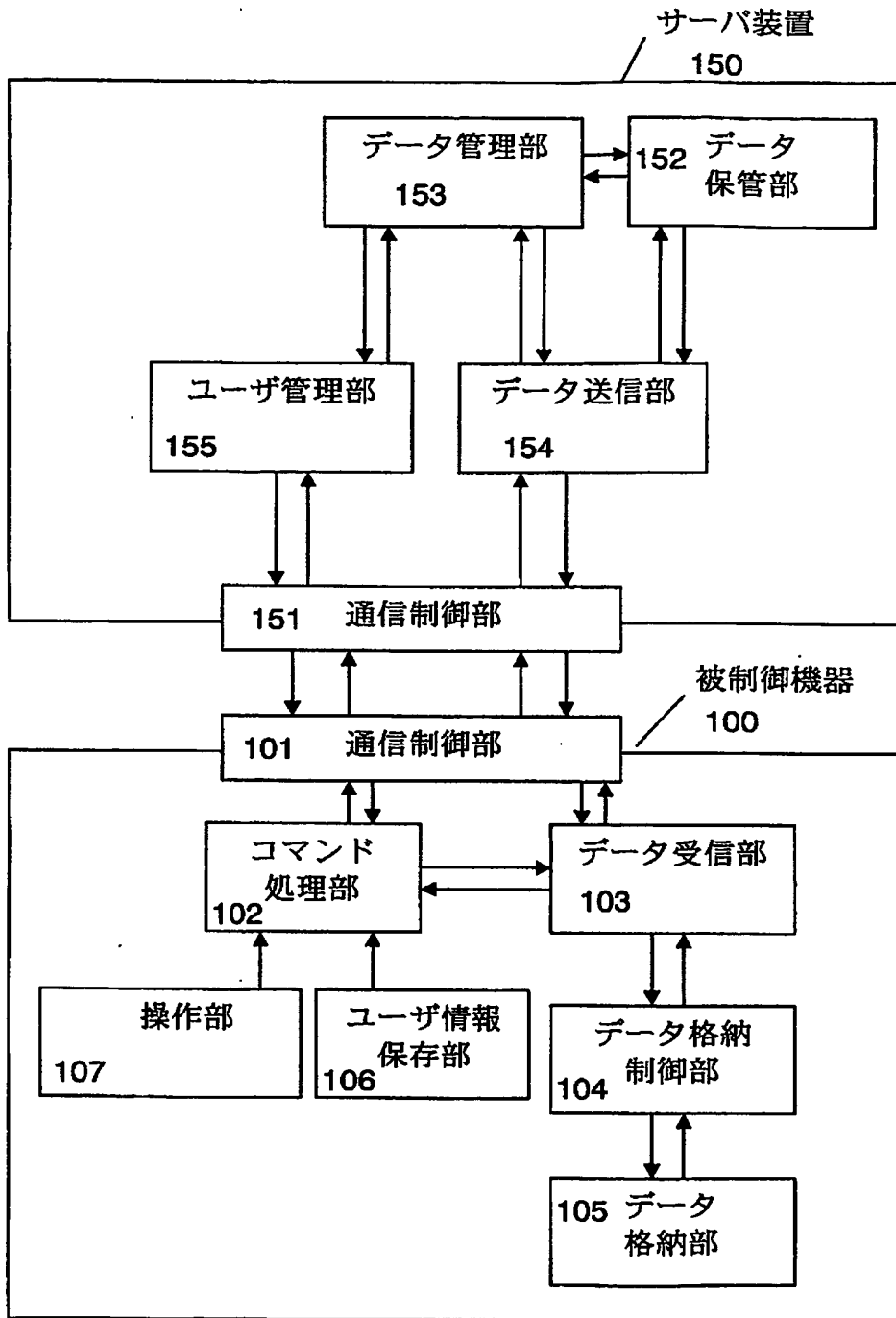
実施例の機器管理部の管理テーブル例

【図 4】



実施例の遠隔制御装置のアルゴリズム例

【図 5】



従来の実施例のブロック図



【図 6】

| 送信先   | 保管場所     | データ名        | ..... |
|-------|----------|-------------|-------|
| Y1234 | holder_a | pic0001.txt | ..... |
| Y2345 | holder_b | pic0002.txt | ..... |
| Y5678 | holder_c | pic0003.txt | ..... |
| ・     | ・        | ・           | ・     |
| ・     | ・        | ・           | ・     |
| ・     | ・        | ・           | ・     |
| ・     | ・        | ・           | ・     |
| ・     | ・        | ・           | ・     |
| ・     | ・        | ・           | ・     |
| ・     | ・        | ・           | ・     |

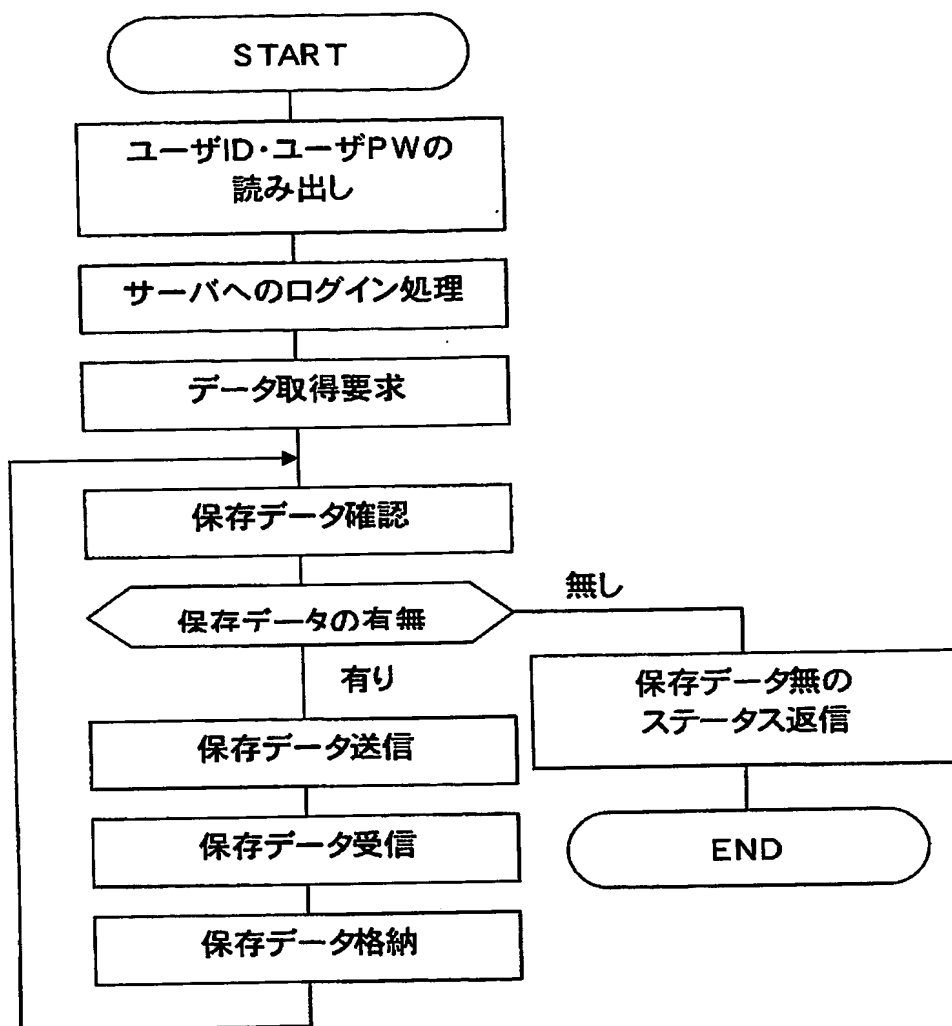
従来例のデータ管理部の管理テーブル例

【図 7】

| ユーザID | ユーザPW  |
|-------|--------|
| Y1234 | abcd12 |
| Y2345 | cdef23 |
| Y5678 | efgh77 |
| ・     | ・      |
| ・     | ・      |
| ・     | ・      |
| ・     | ・      |
| ・     | ・      |
| ・     | ・      |

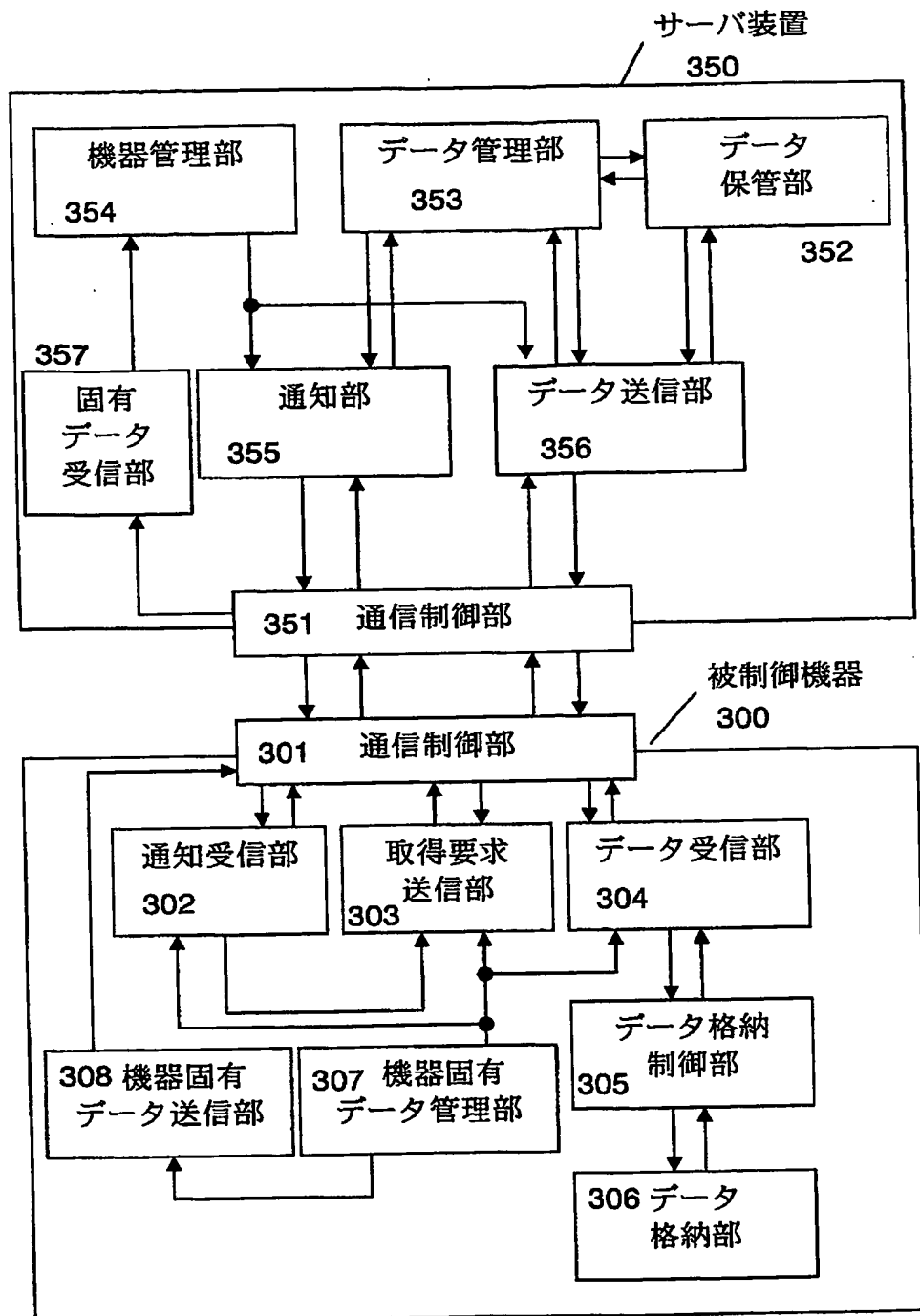
従来例のユーザ管理部の管理テーブル例

【図 8】



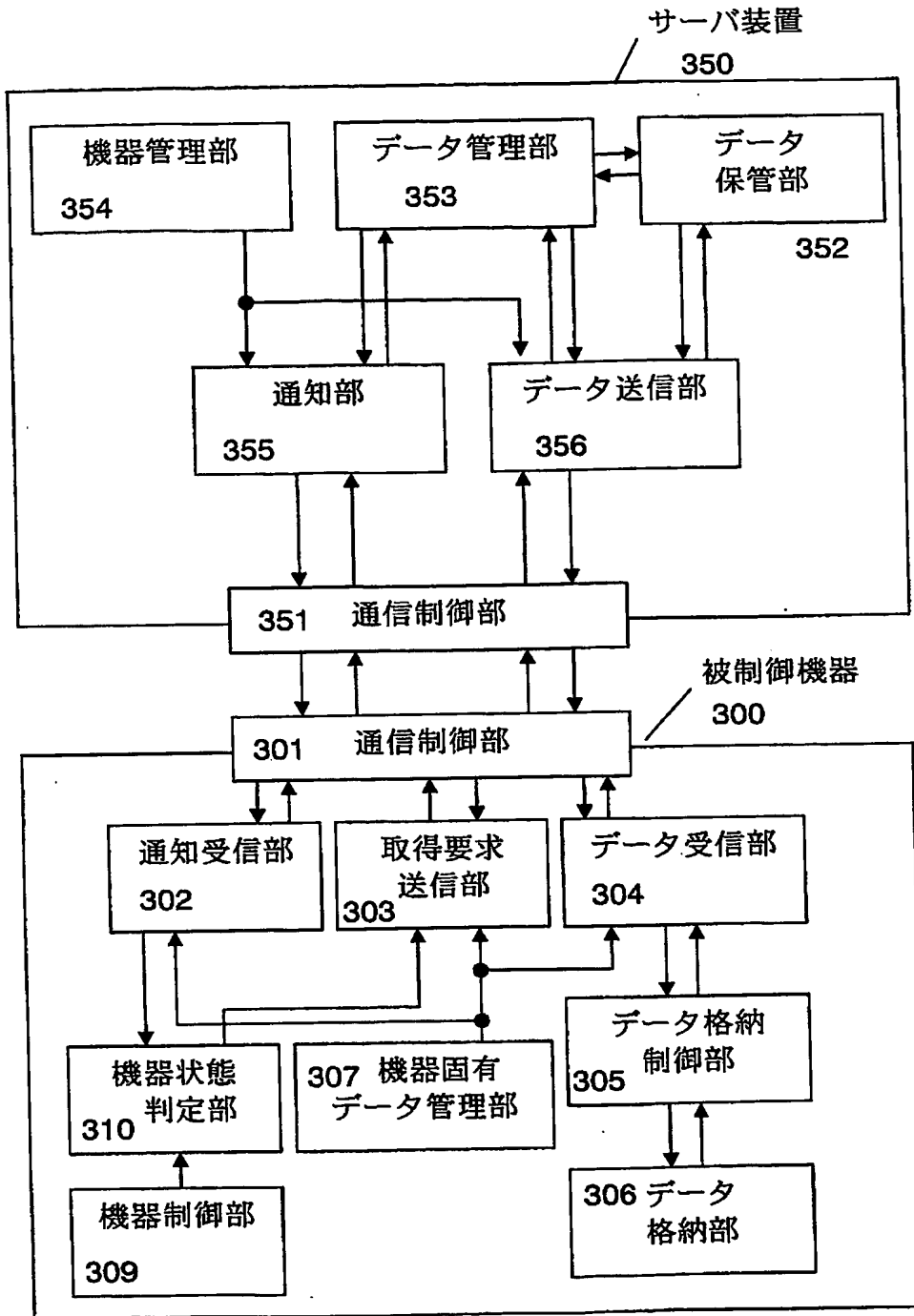
従来例の遠隔制御装置のアルゴリズム例

【図 9】



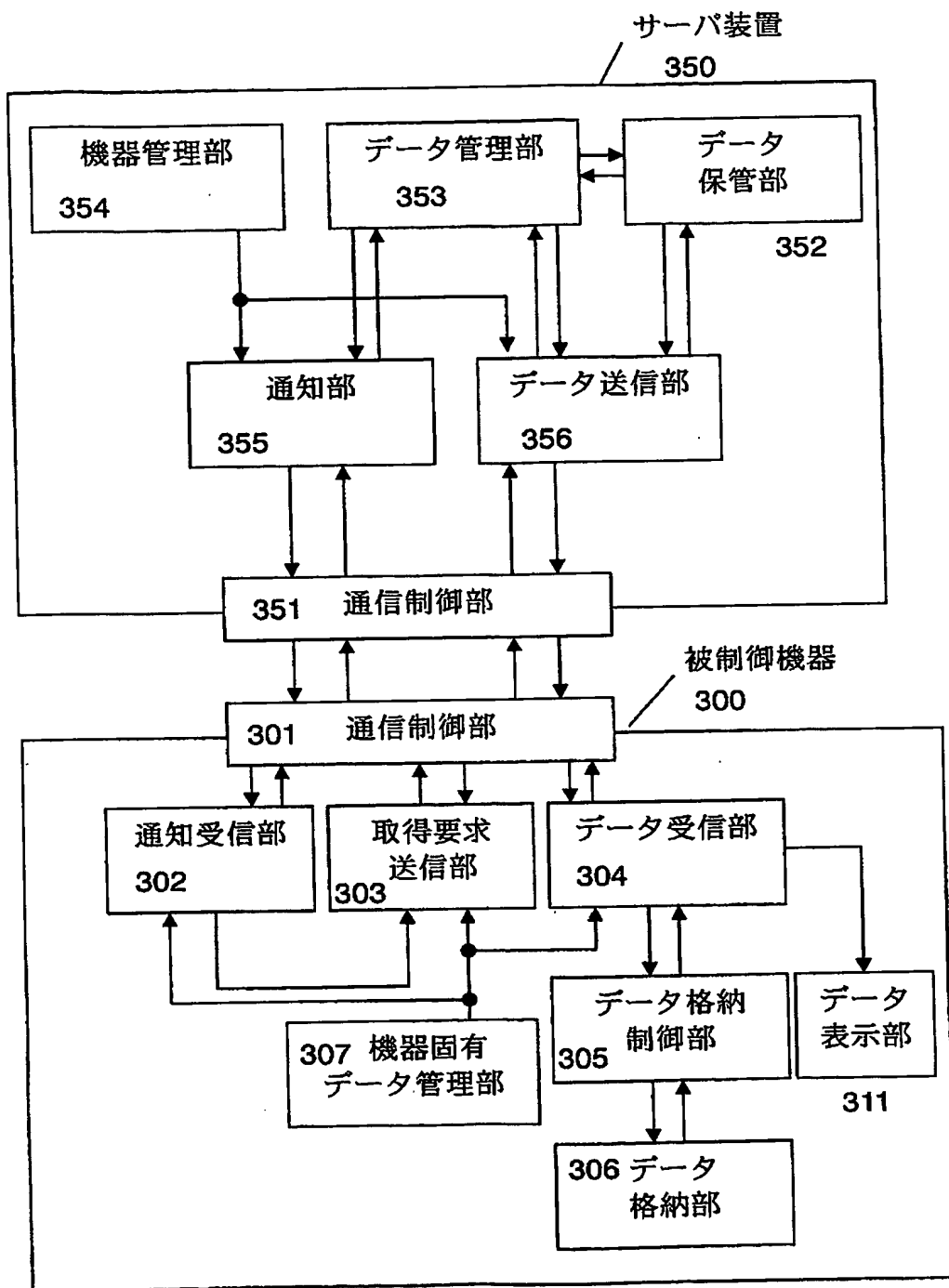
本発明の請求項 2 の実施例のブロック図

【図 1-Q】



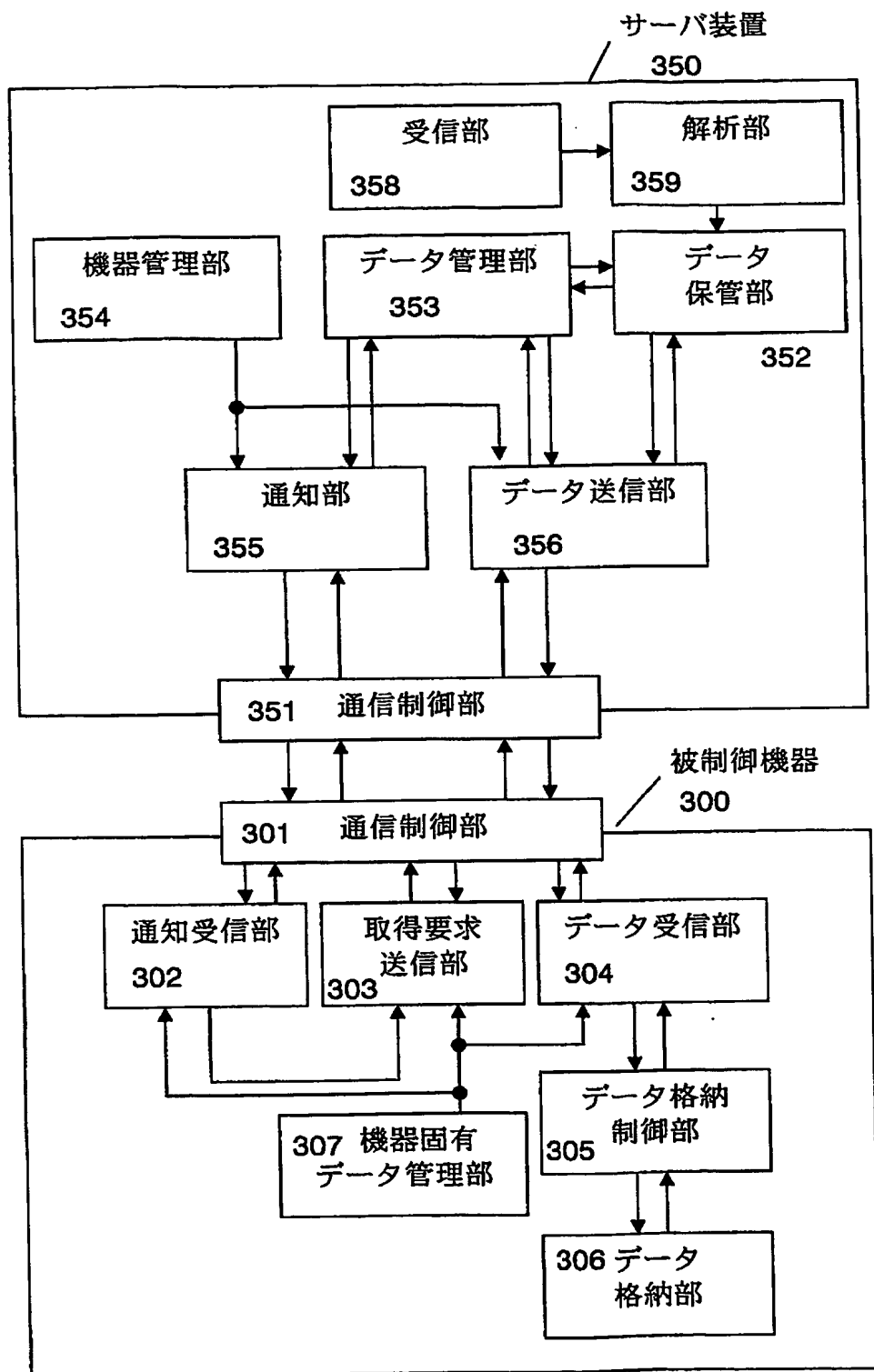
本発明の請求項 3 の実施例のブロック図

【図 11】



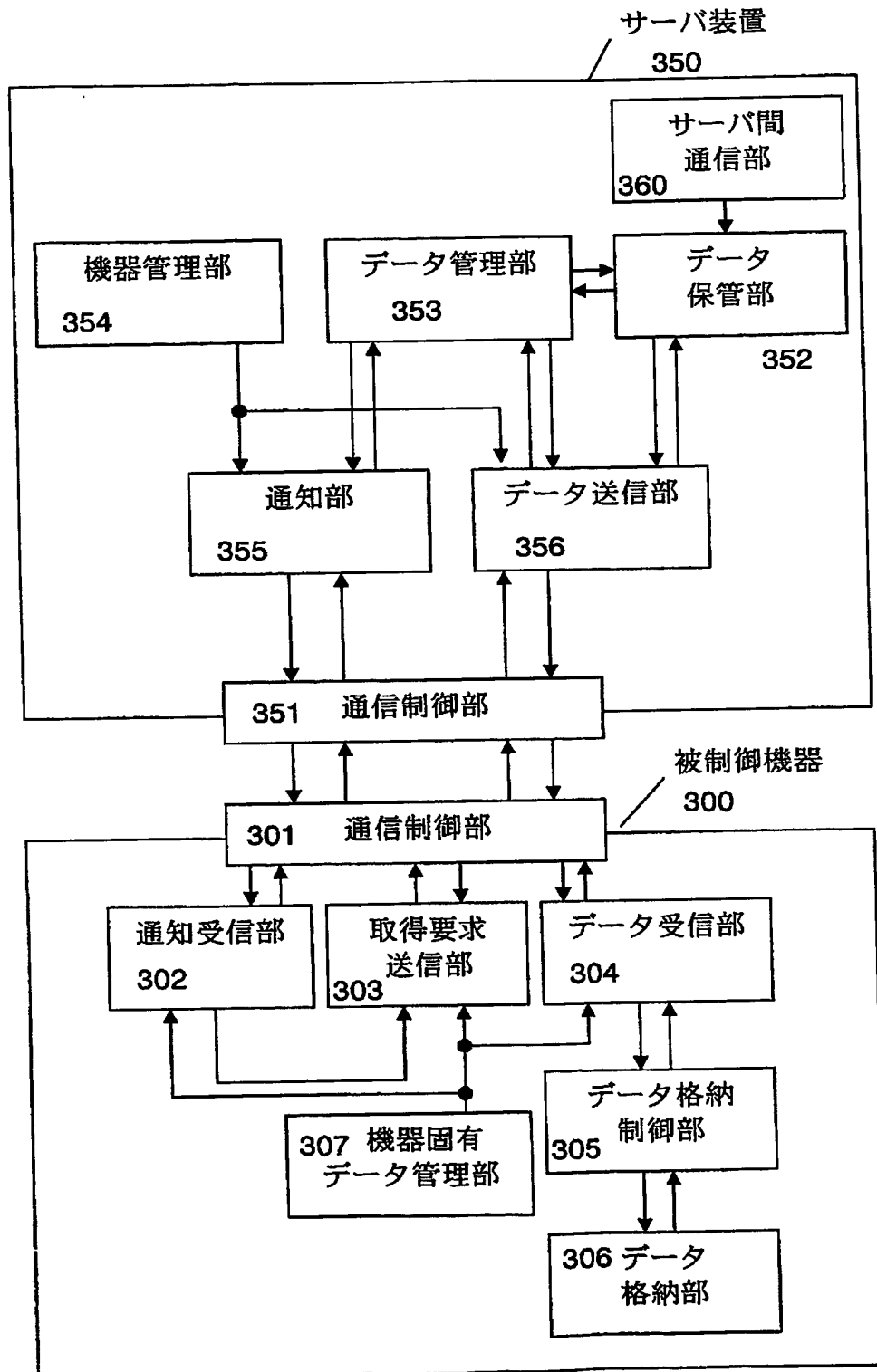
本発明の請求項 5 の実施例のブロック図

【図 12】



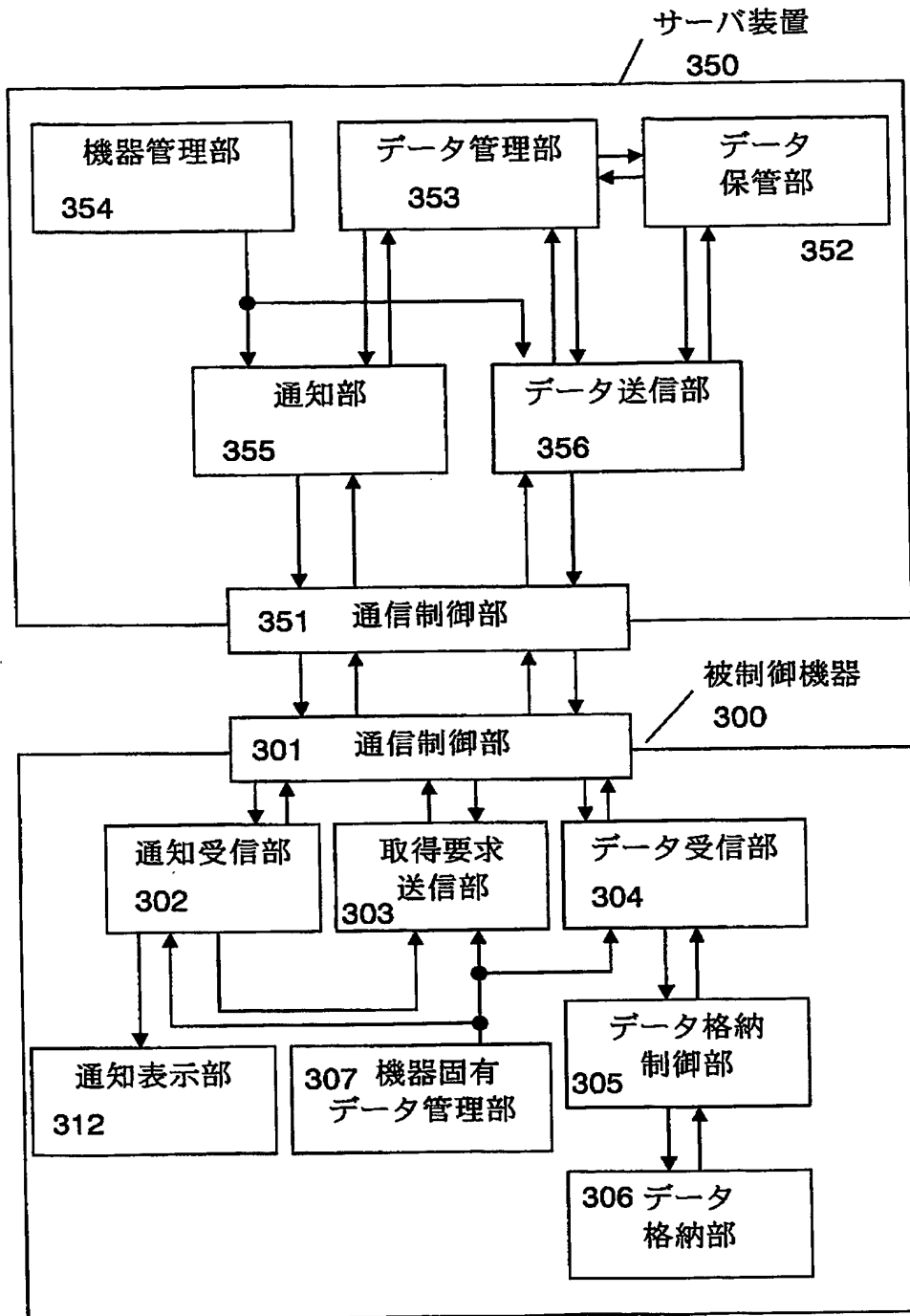
本発明の請求項 8 の実施例のブロック図

【図 13】



本発明の請求項 9 の実施例のブロック図

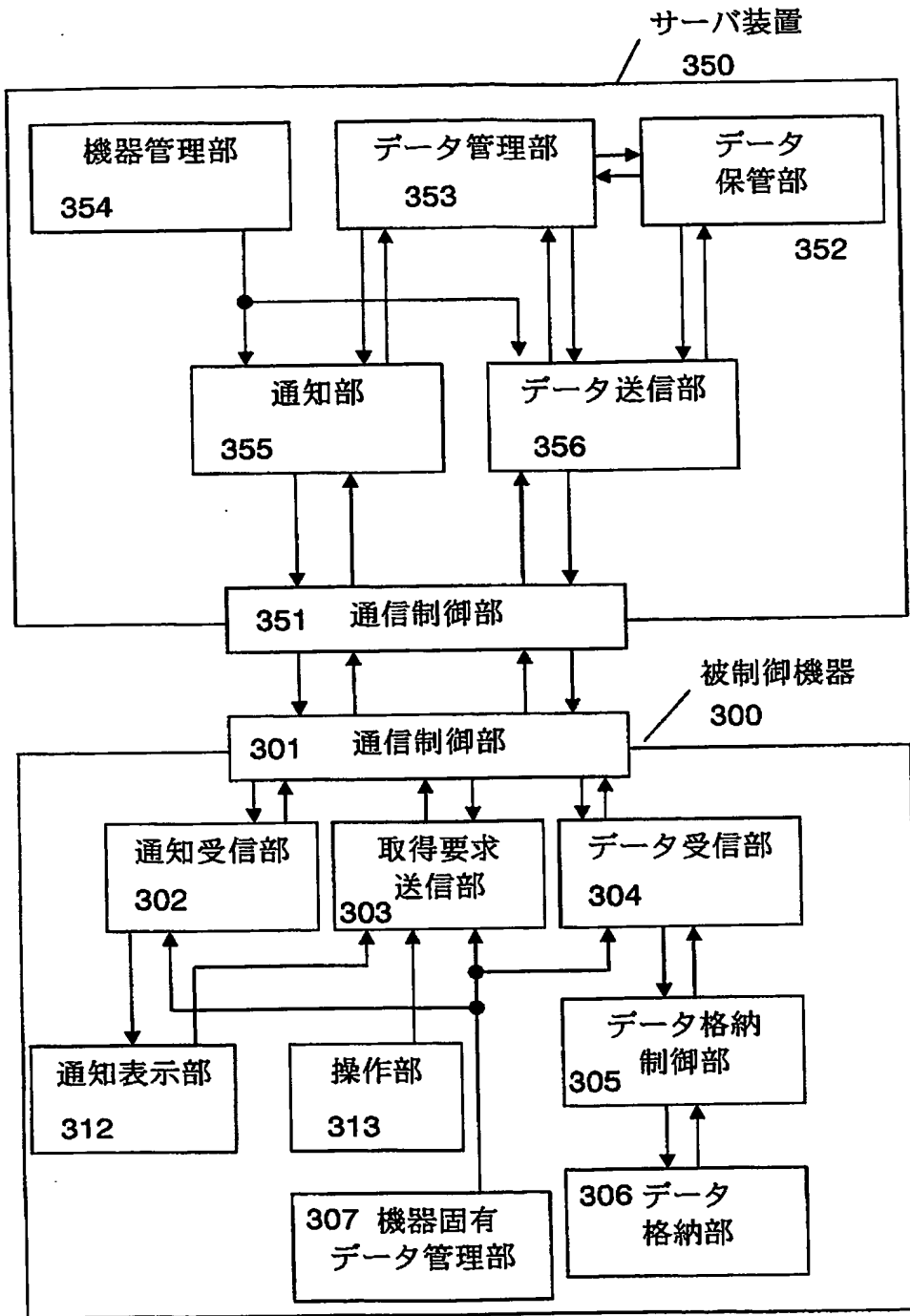
【図 14】



本発明の請求項 10 の実施例のブロック図

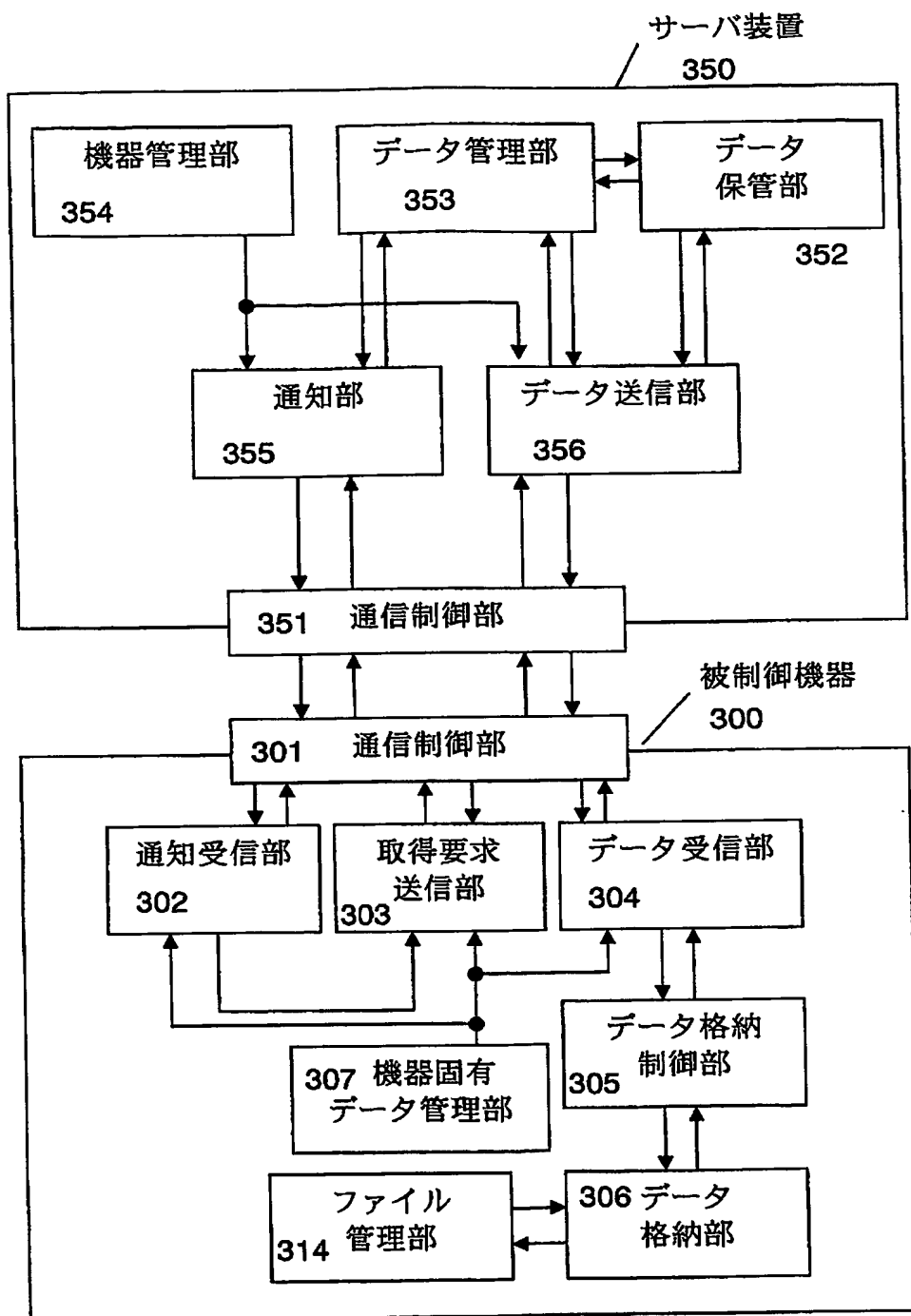


【図 15】



本発明の請求項 11 の実施例のブロック図

【図 16】



本発明の請求項 13 の実施例のブロック図

## 【書類名】要約書

## 【要約】

【課題】従来、サーバ装置にある画像データや文字データを家庭内の機器に格納する場合、これまでは家庭内の機器からの操作を必要としていたため、操作が煩雑であり、またサーバ装置にデータが保管されつづけるため、各ユーザ毎にかなりの容量の記憶装置を準備する必要があり、サーバ装置の運用工数や運用費用が増える等の問題を有していた。

【解決手段】この課題を解決するために本発明は、サーバ装置に画像データや文字データが格納されると直ちにインターネット経由で家庭内の機器に到着を知らせる手段を備え、家庭内の機器に画像データを送信するための送信手段と、家庭内の機器は受信および格納手段で構成されている。

【選択図】図 1

特願 2003-383532

出願人履歴情報

識別番号

[000005821]

1. 変更年月日

1990年 8月28日

[変更理由]

新規登録

住 所

大阪府門真市大字門真1006番地

氏 名

松下電器産業株式会社